

県立高等学校再編整備 丹南地区実施計画（概要版）

1 計画の趣旨

この計画では、丹南地区（鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町）における全日制県立高校の再編整備の方向性について定める。

2 計画の内容

◆ 再編整備方針

- ・ 丹南高校を鯖江高校に統合。統合の時期は、平成32年度を目途
鯖江高校に設置するコースは、当面、丹南高校施設を活用し、将来的に1キャンパスを検討。丹南高校のその他の校舎等については、有効な利活用の在り方等を検討
- ・ 武生商業高校と武生工業高校を統合し、総合産業高校を設置
平成32年度を目途に開校し、当面は両方のキャンパスを活用し、平成37年度を目途に1キャンパスへ移行。校地については、準備委員会において、今後検討

◆ 普通科系高校の特色

- ・ 鯖江高校に、進学体制を強化するため、探究科（仮称）を設置。また、スポーツ・福祉（仮称）、IT・デザイン（仮称）のコースを普通科に設置し、それぞれの分野の大学・専門学校への進学や就職に対応
- ・ 丹生高校は、連携型中高一貫教育の利点をさらにいかすよう、地元中学校との連携を強化し、大学進学等に対応できる学力の育成や部活動を充実
- ・ 武生高校は、探究科（仮称）を設置し、難関大学への進学を強化
- ・ 武生東高校は、国際科で英検準1級全員合格を目指すなど、資格取得を強化

◆ 総合産業高校の特色

- ・ 地元の企業、事業者と連携した実践教育やそれぞれの分野における資格取得の推進など職業教育カリキュラムを充実し、地域の産業界のニーズに応えられる産業人材を育成
- ・ 商業に関する学科として「商業マネジメント科」（仮称）、「情報ビジネス科」（仮称）を設置し、簿記や会計、情報等の基礎的知識・技術を習得。地域の産業・観光を幅広く学習し、地元企業と連携して市場調査や販売戦略を学習するなど地域とのかかわりを重視した専門的・実践的な商業教育を展開
- ・ 工業に関する学科は「都市・建築科」（仮称）、「電気情報科」（仮称）、「ものづくり科」（仮称）を設置し、建築、電気情報、機械等の基礎的知識・技術を習得。地元企業と連携し、充実した機械設備も使用し、最先端の技術や自動制御の仕組みなど生産工程全体を管理するシステムを学習するなど専門的・実践的な工業教育を展開
- ・ 商業と工業の相互の実習と学習や共同での課題研究など、生徒の興味・関心に応じた多様な科目を提供し、生徒の幅広いニーズに対応

＜再編整備後の新体制の姿＞

【現行:平成28年度】総定員数:1,258名

【再編後:平成32年度】総定員(見込)数:1,176名

学校名	学科名	クラス数	人数	学科名	クラス数	人数	クラス増減	学校名
鯖江高校(175)	普通科	5	175	探究科	1	38	+2	鯖江高校(270)
	普通科			普通科	4	156		
	普通科(スポーツ・福祉)			普通科(IT・デザイン)	1	38		
普通科			普通科	1	38			
丹南高校(134)	人文科学	4	134				-4	
	自然科学							
	情報科学							
	生活福祉							
	アート							
	デザイン							
丹生高校(140)	普通科	5	140	普通科	5	140		丹生高校(140)
武生高校(349)	普通科	8	288	普通科	6	228	-2	武生高校(300)
	理数科	1	36	探究科	2	72	+1	
	池田分校	1	25				-1	
武生東高校(188)	普通科	4	128	普通科	3	112	-1	武生東高校(178)
	国際科	2	60	国際科	2	66		
武生商業高校(140)	商業科	2	70	商業マネジメント科	2	74		総合産業高校(288)
	情報ビジネス科	1	35	情報ビジネス科	2	74	+1	
	情報処理科	1	35				-1	
武生工業高校(132)	都市・建築科	1	33	都市・建築科	1	35		総合産業高校(288)
	電気科	1	33	電気情報科	1	35		
	電子機械科	1	33	ものづくり科	2	70	+1	
	工業化学科	1	33				-1	

2つのコースは、丹南高校の施設を活用
⇒将来的に1キャンパスへの移行を検討

統合し、2キャンパスで(8クラス)
⇒H37に1キャンパスに移行(7クラス)

- ※ 鯖江高校、武生高校、総合産業高校の学科名、コース名は全て仮称
- ※ 再編後の総定員(見込)数は、地区の中学校卒業見込数から推計した数
- ※ 学級数、定員数については仮の数字。生徒の志望動向等によって、変更する。

【新体制移行までの主なスケジュール(予定)】

年度	鯖江高校(丹南高校)	総合産業高校
H30	準備委員会設置 ・新学科、コース等カリキュラム検討 ・校舎・施設の利用計画の検討 ・必要な施設・設備の整備の検討	準備委員会設置 ・新学科等カリキュラム検討 ・校地および校舎・施設の利用計画の検討 ・必要な施設・設備の整備の検討
H31	・施設・設備の整備 ・人員配置検討 ・学校案内等の作成 ・生徒、保護者等への周知 ・生徒募集	・施設・設備の整備計画策定 ・人員配置検討 ・新高校の校名等の検討 ・学校案内等の作成 ・生徒、保護者等への周知 ・生徒募集
H32 ~	・鯖江高校新学科、新コース生徒入学	・総合産業高校開校(2キャンパス) ・施設・設備の整備
H37		・1キャンパスへ移行

※ 施設・設備の整備は、カリキュラムの内容や検討の進捗状況を踏まえ、計画的に実施